

研究構想シート		学校名	松江市立古江小学校
		氏名	伊藤由美子
A 研究主題 「主体的に学び 共に高め合う 古江っ子の育成」 ～対話を通して考えを深め合う授業をめざして～（1年次）			
B 研究の目的 子どもたちが思考し、対話をしながら考えを深める授業づくりをめざす。			
C 子どもの実態 (+) 落ち着いた学年が多く、すなおで教師の指示に従って行動できる子が多い。 (+) 書籍やインターネットなどを使って調べ、まとめる活動を好む。 (一) 自分の考えを学級で発言するのを好まないが、話し合いで友達の意見を聞いて学べていると感じている児童が多い。 (一) 日常で起こった問題を自分たちで協力して解決することに躊躇したり、大人に頼ったりする子が多い	E 手立て・内容（研究仮説） (1) 「対話」を通した人間関係づくり （各学年・学級で取り組み、計画を一覧にして情報共有する） (2) 豊かに伝え合うためのスキルづくり「対話スキル」 (3) 互いの考えを深め合う「対話」のある授業研究（今年度の校内研究で焦点化する） (4) 対話を活かした発展の場として、総合的な学習の時間、学級行事や学年行事、学校行事など （各学年・学級の取り組みの計画を一覧にし、情報共有する。授業でつけた力が発揮できたかをふりかえる）	D めざす子どもの姿 ・平和的解決ができる子。 ・友達の考えを知ることによって自分の考えが深められる子。 ・予想不可能な未来でたくましく生きていく力をつけるため、協働的に問題を解決する力をもてる子。	
	F 検証方法 成果指標 ①児童のパフォーマンス評価の変容 ノート、発言に、思考した後が見える記述 ②児童アンケートの変容（7月・12月） （目標値）対話型授業で自分の考えが広がったり深まったりしたと感じた児童80%以上		
	G 研究計画 (1) 「対話」を通した人間関係づくり ○何でも話せる温かい学級集団づくり ○思いを伝え合う場の意図的な設定 (2) 豊かに伝え合うためのスキルづくり ○自分の考えを的確に伝える力「対話スキル」 ○積極的に聴く力 「チャンネル3で聞こう！」+話し方、聞き方、話し合いの言葉等の掲示 (3) 互いの考えを深め合う「対話」のある授業づくり ○子どもが考え対話したくなる発問の工夫 ○子どもの思考が深まる板書の工夫 ○学年部内で授業参観をしふりかえりを行う。 (4) 対話をいかした発展の場として、総合的な学習の時間、学級行事や学年行事、学校行事などを設定する。		